

平成29年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月27日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3329 URL http://www.towafood-net.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岸野 禎則  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部部长 (氏名)長谷川 研二 (TEL)03(5843)7666  
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月17日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第3四半期の業績(平成28年5月1日～平成29年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	8,077	1.2	415	△18.5	427	△17.7	245	△12.4
28年4月期第3四半期	7,978	3.4	509	27.1	519	27.9	280	34.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	60.38	—
28年4月期第3四半期	68.80	—

※平成27年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第3四半期	6,735	4,793	71.2
28年4月期	7,129	4,694	65.8

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 4,793百万円 28年4月期 4,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	15.00	—	7.50	—
29年4月期	—	8.50	—		
29年4月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成27年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。配当金については1株当たりの配当金をそのまま記載しております。

3. 平成29年4月期の業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	3.8	679	16.6	700	11.4	409	25.1	100.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期3Q	4,093,200株	28年4月期	4,093,200株
② 期末自己株式数	29年4月期3Q	58,302株	28年4月期	17,302株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期3Q	4,066,787株	28年4月期3Q	4,075,912株

(注) 平成27年11月1日付にて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本決算に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第3四半期における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の緩やかな改善により回復基調が見られたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速、米国の新大統領就任や為替の変動によるリスクなど、景気の回復は依然として不透明な環境で推移いたしました。

当社におけるメニュー政策、販売促進面では、ダッキーダックにおいて女性の美と健康を意識した「恋ダン！美肌スムージー」を開発、生の果実感、清涼感を味わえるメニューを展開致しました。また季節感のみではなく、イベント性を打ち出した「クリスマスフェア」「苺だらけフェア」に加え、お召し上がりいただく際の付加価値を高める為、高級食器へと変更いたしました。

今後はさらに、新たに「卵料理・ケーキ」に特化したメニューへと進化させてまいります。

椿屋珈琲グループにおいては、月替わりでご提供しているスペシャルティコーヒーに加え、自家焙煎椿屋珈琲店池上店にジェットロースターを導入。ご注文後に高速で焙煎を行い、「煎りたて・挽きたて」の珈琲提供が可能となりました。今後も、ジェットロースターは導入を広げ、より美味しさを追求してまいります。

客数回復に努めたダイニングカンパニーでは、既存店売上高が前年を大きくクリアしております。ドナグループでは、全店「イタリアンダイニングDoNa」へのロゴの変更が完了し、お客様にわかりやすい業態の訴求を推進いたしました。同時に開放的なデザインに外装をあらためた事で、お酒を楽しめるディナー帯が強化されました。

店内ではサジェストリーダーを任命し、ワイン、ビールを楽しみながらお食事を楽しむグループ客の獲得に繋げ、リーズナブルプライスで楽しめるお酒にあう一品料理も豊富に提供しております。

ロシア大統領の来日記念で開発したロシア風ビーフシチュースパゲッティ、ロシアンティ等の新メニューは特に好評頂きました。

ドナ・ぱすたかん両グループにおいては、客数回復を目的として1年間継続実施している「お得な6日間」に加え、新成人向けに開催した「オ・ト・ナな9日間」。あわせて開発したオ・ト・ナメニュー、なぞ肉メニュー、29(ニク)の日等のイベントにより、客数回復はもちろん、売上の向上に寄与しております。

「美と健康」という観点から素材の本質を際立たせる「攪拌」に着目し、さまざまな開発を行っております。納豆の攪拌回数を大幅に増やす事で、納豆本来の持つ性質を際立たせた大好評の「ネバネバ四姉妹とアホエンの美肌パスタ」、チョコレートの攪拌回数を増やした「ベルギーチョコレートケーキ」、当社自慢のシフォンケーキでは、あしながプレミアム珈琲シフォンケーキがさらにフワフワでしっとりとした口あたりへと変化いたしました。

このような取り組みに加え、従業員の意識をより向上させるために行っている社内オリジナルの目立つ名札はお客様との会話のきっかけとなっており、従業員持ち株会加入推進も継続して行っております。2月26日に行われた東京国際マラソン2017では、総勢19名もの社員が参加致しました。このエネルギーを今後も業績に反映できるよう努めてまいります。

以上の取り組みの結果、椿屋珈琲グループの好調は維持しながら、ダイニング部門である「ドナ」「ぱすたかん・こてがえし」の業績は急激に回復しており、当四半期は2桁の増益となっております。第3四半期累計期間の売上高は80億77百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は4億15百万円(同18.5%減)、経常利益は4億27百万円(同17.7%減)、四半期純利益は2億45百万円(同12.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて2億45百万円減少し、17億62百万円となりました。これは、現金及び預金が1億28百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億47百万円減少し、49億72百万円となりました。これは、リース資産が1億30百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて3億93百万円減少し、67億35百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて3億46百万円減少し、9億63百万円となりました。これは、未払金が77百万

円、未払法人税等が61百万円、未払賞与が50百万円、1年内償還予定の社債が50百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1億46百万円減少し、9億78百万円となりました。これは、リース債務が1億7百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4億93百万円減少し、19億41百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて99百万円増加し、47億93百万円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月30日に公表いたしました、平成29年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,337,906	1,209,594
売掛金	85,511	85,075
SC預け金	270,103	225,024
商品及び製品	26,296	33,128
原材料及び貯蔵品	87,457	85,231
前払費用	116,917	83,426
繰延税金資産	37,313	37,313
その他	47,531	4,173
貸倒引当金	△422	△345
流動資産合計	2,008,615	1,762,621
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,193,155	1,055,599
工具、器具及び備品(純額)	228,947	265,163
土地	1,118,599	1,118,599
リース資産(純額)	350,855	220,296
その他(純額)	32,208	84,676
有形固定資産合計	2,923,765	2,744,335
無形固定資産		
長期前払費用	32,115	26,771
繰延税金資産	179,598	179,366
差入保証金	467,623	465,088
敷金	1,464,704	1,504,363
その他	38,887	39,360
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	2,182,925	2,214,947
固定資産合計	5,120,599	4,972,678
資産合計	7,129,214	6,735,300

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	257,444	223,037
1年内返済予定の長期借入金	42,860	42,860
1年内償還予定の社債	70,000	20,000
リース債務	133,515	92,445
未払金	387,740	310,589
未払賞与	104,627	53,770
未払費用	68,893	84,126
未払法人税等	105,247	43,989
未払消費税等	79,048	82,986
預り金	27,076	6,698
店舗閉鎖損失引当金	3,605	-
資産除去債務	27,722	-
その他	2,045	2,677
流動負債合計	1,309,826	963,181
固定負債		
社債	210,000	200,000
長期借入金	214,270	182,125
リース債務	256,269	148,568
退職給付引当金	293,805	288,064
資産除去債務	129,824	138,439
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,125,153	978,182
負債合計	2,434,980	1,941,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	3,347,050	3,527,394
自己株式	△19,272	△100,331
株主資本合計	4,684,128	4,783,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,105	10,524
評価・換算差額等合計	10,105	10,524
純資産合計	4,694,234	4,793,936
負債純資産合計	7,129,214	6,735,300



## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
売上高	7,978,517	8,077,829
売上原価	2,087,557	2,155,291
売上総利益	5,890,959	5,922,537
販売費及び一般管理費	5,380,965	5,506,925
営業利益	509,994	415,612
営業外収益		
受取利息	191	101
受取配当金	499	579
受取家賃	19,906	20,037
その他	1,434	3,997
営業外収益合計	22,031	24,716
営業外費用		
支払利息	8,334	5,779
不動産賃貸原価	1,339	2,558
その他	2,692	4,224
営業外費用合計	12,366	12,562
経常利益	519,659	427,766
特別利益		
立退補償金	12,660	-
特別利益合計	12,660	-
特別損失		
固定資産除却損	69,934	10,670
減損損失	9,007	36,216
店舗閉鎖損失	1,000	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,000	-
特別損失合計	80,941	46,887
税引前四半期純利益	451,378	380,878
法人税等	170,961	135,321
四半期純利益	280,416	245,557

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。